

中日関係は相互理解・相互信頼が不可欠 民間レベルの交流を活発に

一九七一年の名古屋でのピンポン外交をきっかけに翌年实现した日中国交正常化から四五年。日本と中国の交流は曲折はあれ、着実に深まっています。名古屋では日本で最初に催された春節祭も一一年目に入り、ますますパワフル。十月に就任したばかりの中国駐名古屋総領事館の鄧偉総領事に名古屋の印象や抱負などを聞いた。

——名古屋の印象は。

鄧 任地エリアは中部六県。大自然がきれいで風光明媚、かつ歴史豊かなところ。愛知県は三英傑の生誕地で、白川郷や熊野古道、伊勢神宮など日本の文化を代表する世界遺産もある。一方、名古屋・

中部は製造業の中心で中国との経済交流も盛んであり、中国に進出している企業は日本全体で約二万社だが、この地域からは、トヨタ自動車など世界的に有名な企業をはじめ、約四〇〇〇社が進出しています。

加えて、自治体同士・地方レベルの交流も盛んです。六県で中国の都市などと姉妹提携しているのは四五組で、三重県と河南省は今

年友好三〇周年となります。愛知県は江蘇省、名古屋市は南京市と愛知県下では九組あります。

民間の草の根交流は大切で、観光面での交流も隆盛です。時に紆余曲折はありましたが、全体的に見れば順調に進んでいます。

——今後の方向性は

鄧 これからの中日関係を考えると、この地域の特性、潜在力を

生かしていけば交流の未来は明るいでしょう。一方、中日間の貿易額は現在三〇〇〇億ドルですが、これを維持し、増やすには、環境技術、省エネなど新しい分野への拡大が求められます。中部地域には寄与できるノウハウなどもあり、期待や果たせる役割は大きい。

——当地域の多くの企業が加わる日中の貿易促進団体・東海日中貿易センターが昨年創立六〇年を迎えました。

鄧 世界企業トヨタ自動車など日本企業を引っ張っていく企業も多く、中国進出も順調でシェアも広がっています。同センターは今でも日中の架け橋的な役割を果たしていますし、今後も十分期待できます。特に最近、中日は双方向

になりつつあり、中国から日本への投資が増加傾向で同センターの役割は大きくなっています。昨年、中国からは約五〇〇万人が訪日し今年には六〇〇万人が予想されます。中国の海外への観光客は年々増えており、昨年は一億二〇〇〇万人。そう考えますと、まだ少ない方。日本は観光立国を目指し二〇二〇年に四〇〇〇万人を目標にしています。おそらく二〇〇〇万人は中国客と想定されます。

——中区・久屋大通公園で開かれる名古屋春節祭は今春第一一回を迎えますね。

鄧 名古屋春節祭は日本最初の春節祭で影響力も大きく動員数も多くあります。今は新潟、大分など各地で開催されていますが、名